

## まちの活性化を目指す行政と協働 全天候型 あそび場「こどもひろば ひみっこぱーく」をプロデュース 奈良県桜井市「まほろばセンター」5月11日(土)オープン

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、行政と連携し、奈良県桜井市の桜井駅前に2019年5月11日にオープンする全天候型のあそび場「こどもひろば ひみっこぱーく」をプロデュースしました。

### 人口減少に悩む自治体の課題を解決。子育ての社会インフラとしてのあそび場を開発

公園の遊具撤去・あそび制限などから、子どもが存分に体を動かして遊べる環境が減少し、子どもの体力やコミュニケーション能力が低下する問題が表出しています。また、人口流出が進む地方自治体では、若いファミリー層の流入に向けて「子育てしやすい街づくり」を標榜しています。こうした課題に対して、当社では、子どもの健やかな成長を促すあそび場は地域に整備されるべき生活基盤という考えのもと、これまで培ってきたあそび場開発のノウハウを生かして、現在までに30カ所の自治体と協業してあそび場を開発してきました。

当社が開発するあそび場は、“走る・跳ぶ・登る”など全身を大きく動かすよう設計されたアクティブエリアと、創造あそびに集中して取り組めるエリアが一体となり、“こころ・頭・からだ”のすべてを使って存分に遊べるとともに、あそびを通して子どもの主体性や協調性を育むことを意図して設計しています。さらに、常駐する「プレイリーダー」が子どもの発達や興味に合わせたあそびを提案。親同士の交流の場としても親しまれ、年間約277万人以上の親子に来場いただいています。

### 奈良県桜井市 :子育て世代を中心とする、多世代交流を促し、地域の「にぎわい創出」の拠点に

奈良県中部、三輪山に抱かれた桜井市は、ベットタウンとして発展してきましたが、2000年をピークに人口が減少し、特に20代・30代の転出が目立つ状況にあります。「桜井市人口ビジョン」をもとに子育て世代へのサポートに取り組む同市では、「多世代交流・にぎわい創出」の拠点として、桜井駅前にある「まほろばセンター」を健康ステーションや子育て情報などを集約した施設へとリニューアルします。その一環として、当社は市と連携して、子育て世代をはじめとする多世代が集い、あそびの力で地域の活性化を促す、全天候型のあそび場「こどもひろば ひみっこぱーく」を開発しました。



## 1. 「子どもの発達」、「多世代交流」、「地域特性」を意識したあそび場デザイン

「こどもひろば ひみっこぱーく」は、当社が開発した関西の子育て支援施設としては最大級の約 870 m<sup>2</sup>を誇り、天候にかかわらず、子どもの年齢や発達に合わせて、思う存分遊んでいただける屋内あそび場です。乳幼児専用の「ベビーエリア」、ごっこあそびや組み立てあそびなどの「静のエリア」、体を思い切り動かして遊べる「アクティブエリア」の3エリアから構成され、絵本エリアや語り合えるベンチを設けるなど、多世代に日常的に何度も訪れていただけるよう、ゆとりのある空間を設計しました。

また、歴史豊かな桜井市の地域特性にあわせて、「ベビーエリア」は里山、「静のエリア」は現在の町並み、「アクティブエリア」は奥山をイメージしてデザインし、和紙や水彩などを活用して造作することで、歴史と自然が織り成す桜井市ならではの空気感を表現しました。

## 2. 多様な動きを促すあそびや遊具が満載

あそび場のシンボルとして、大型の木製二階建ての遊具を中央に設置。そこでは、ごっこあそびなどの表現あそびや、クライミングやトンネル、滑り台といった体あそびなど、興味に応じて複合的なあそびを楽しめます。また、桜井市の自然を意識してデザインした、木登りを感じさせるクライミングや、地形の凸凹、大きな築山、ボールプールなどでは、大きく体を使って遊ぶことができます。また、3種類の回転遊具を導入することで、普段できない「縦回転」・「横回転」を体験できるなど、あそびのなかで多様な体の動きを自然にできるよう工夫しています。



さらに、「静のエリア」には、ブロックやごっこあそびなど、クリエイティブで自分を表現するあそびが充実し、「ベビーエリア」では、ハイハイやつかまり立ちといった発達を促す遊具をそろえています。離乳食を食べさせられる休憩スペースや授乳室、おむつ交換台も完備し、親子でゆっくりと過ごしていただけます。



アクティブゾーンイメージ



創造あそびゾーンイメージ



ベビーゾーンイメージ

### 桜井市 まほろばセンター「こどもひろば ひみっこぱーく」概要

- 所在地 奈良県桜井市桜井 1259 番 2 階
- 施設面積 約 870 m<sup>2</sup>
- 営業時間 10:00～18:00（あそび場の最終受付は 17:00 まで）
- 対象年齢 小学生以下の子どもとその保護者
- 利用料金 子ども 1 人 60 分 400 円(市内在住) / 500 円(市外在住)  
大人 1 人 300 円(市内在住) / 400 円(市外在住)  
(追加料金:子ども、60 分ごと 100 円)  
※6 ヶ月未満の子どもは無料  
※当施設は必ず保護者同伴でご利用ください。  
※利用料金は予告なく変更させていただく場合がございます。
- 営業開始日 2019 年 5 月 11 日(土)
- 運営管理 ミズノスポーツサービス株式会社(桜井市委託)
- 電話番号 0744-42-1973

## 行政と協業したあそび場の開発 事例紹介



■ 「ポーネルンド プレイヴィル 安満遺跡公園」  
(大阪府高槻市 2019 年オープン)

「市民とともに育てつづける公園」をコンセプトに、高槻市は弥生時代の遺跡を中心とした緑地を「安満遺跡公園」として整備。そこに、子どもが集い交流しながら思う存分遊ぶことができる屋内・屋外のあそび場を開発しました。多様な動きを引き出す遊具をそろえ、泥遊びなどの自然のなかで五感や好奇心を刺激するあそびを充実させ、屋内には「表現遊びエリア」も設けました。複合的・発展的なあそびから、子どもの成長を促すことを目指しています。



■ 「安城産業文化公園デンパーク」  
(愛知県安城市 2018 年オープン)

安城産業文化公園デンパークは、より子どもも楽しめる公園を目指して、当社と連携しリニューアルを行いました。屋外には幼児が砂遊びなどを楽しめる遊具や、小学生が木登りをするようなチャレンジができる国内最大級の遊具があり、屋内では天候を問わず親子で思う存分遊べる環境が整います。これがこれからの公園のあるべき姿の一つであると考え、今後も豊かなあそび環境づくりに取り組んでまいります。



■ 「カブッキーランド すくすくひろば」  
(石川県小松市 2017 年オープン)

石川県小松市と協業し、子どもが小松市の良さを知り、地元への誇りを育むことができる親子のあそび場を開発しました。豊かな自然や空港、石切り場といった、市の環境やストーリーに紐付いた環境であり、遊びながら小松市のことを学べます。人口約 10 万人の市ですが、オープン以来 3 か月で約 3 万人が来場し、子育てに欠かせない場となっています。

### 【ポーネルンドについて】

ポーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 78 ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万 5 千ヶ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタート。全国 21 ヶ所、年間約 277 万人、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国約 51 ヶ所、年間 350 万人以上の親子が訪れています。

#### 【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ポーネルンド 広報室 担当:村上  
TEL:03-5785-0860、080-5901-3591  
e-mail [public-relations@bornelund.co.jp](mailto:public-relations@bornelund.co.jp)

#### 【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ポーネルンド  
TEL:0120-358-518(月~金 10:00~17:00)